

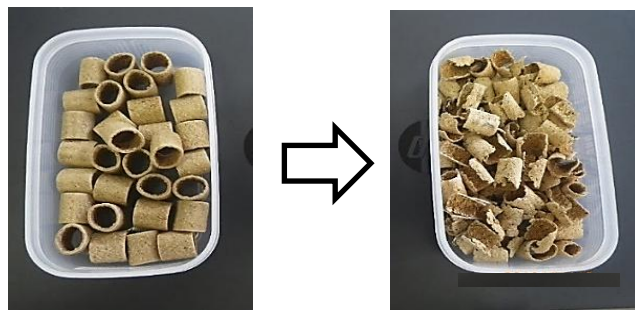


「異物の越流なし・閉塞のしない」越流堰の特許取得！！

dsp排水処理槽には、下記の担体が組み込まれた方式が数多く存在致します。

当該担体は流動槽内で損傷し割れて、担体漏れ防止スクリーンを通過し沈殿槽に入り、そこに設置の越流堰からポンプ槽に流れ出ます。

担体の割れ状況



処理槽メーカーはようやく、割れない担体を投入してまいりました。その結果、担体の寿命は大幅に伸びたと判断できます。dsp処理槽には安直なシステムが見られ、警報多発が存在します。水処理の既存システムを超えて、省エネ・Co2削減の新たな装置システムの誕生が待たれます。

沈殿槽を流出した割れ担体は、放流ポンプ槽に入り放流ポンプに絡み、ポンプ故障・停止の妨害をもたらします。

これまでに何度も、前記の割れ担体流出で警報・緊急出動があり、割れ担体の除去作業に追われました。

そこでポンプ槽に割れ担体や異物が流れ出ない、越流堰を考案し実証テストを繰り返してきました。

ようやく、異物や割れ担体の流出しない、しかも閉塞しない越流堰に辿りつきました。

当該装置、特許許可が届きました。



警報ゼロに、また一步近づく！！

弊社は、dsp処理槽の警報ゼロを目指しています。

今回の「異物流出ゼロ越流堰」の開発で、また一つ警報要因をクリアできました。

沈殿槽には、破損し割れた担体が浮上していますが、新越流堰で割れ担体の放流ポンプ槽流出をstopしています。

水物語 No 131

いい湯だな・・・

毎月26日はお風呂の日

寒い日は温ったかいお風呂が一番です！

「風呂の日」は1985年5月（昭和60年）家族でお風呂に入って親子の対話を深める目的で東京ガス株式会社により制定されました。（毎月26日）また一般社団法人HOT JAPANは日本独自のお風呂文化の魅力を発信することを目的に2月6日を「お風呂の日」として制定しています。

他にも「良い風呂の日」（4月26日）、「露天風呂の日」（6月26日）等、様々な団体がそれぞれの思惑で風呂の記念日を制定しています。

柚子湯や菖蒲湯などは四季折々の日本文化と切り離せないものであり、一杯に溜めたお湯で体を温めたり、複数人で湯舟につかり社交場としての役割は日本独自の文化です。

厳しい寒さの日、1日の終わりに入浴剤・草津温泉で入るお風呂は小生にとってはさやかな贅沢であり最高の癒しの時間です。

参考：一般社団法人 日本記念日協会HP



特許

油脂ゼロポンプ槽推進中！

dsp・HVシステム槽推進中！ 株式会社クリーンテックサービス東京